

(別添資料1)

事業所名

和い和いの手

児童発達支援 支援プログラム

作成日

2026 年

3 月

5 日

法人（事業所）理念		すべての子どもが自分の言語で安心して表現できる社会をつくる 手話を言語として尊重し、多様なコミュニケーションが共存する地域社会の実現を目指す					
支援方針		1. 手話を基本言語とした療育実施 2. 5領域に基づく総合支援 3. 医療的ケア児を含む安全配慮体制 4. 保護者への手話支援プログラム実施 5. 将来の社会参加、就労を見据えた支援					
営業時間		9 時	0 分から	17 時	45 分まで	送迎実施の有無	(あり) なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	食事、排泄、着替え等の基本的生活動作訓練、生活リズムの確立支援、医療的ケア児への安全管理（必要時）					
	運動・感覚	粗大運動（マット運動、リズム運動）、微細運動（制作活動、操作活動）、感覚統合を目的とした活動					
	認知・行動	色・形・数の理解、順番やルールの理解、視覚的構造化支援					
	言語 コミュニケーション	手話・絵カード・ジェスチャーの活用、絵本の読み聞かせ（手話）、模倣活動					
	人間関係 社会性	小集団活動、役割活動、感情調整支援					
家族支援		定期面談（年2回以上）、相談支援、家庭での関わり方助言 関係機関連携（保育園・幼稚園・医療機関・相談支援専門員等）			移行支援		乳幼児の成長段階に応じ、次を実施する ・学校等との情報共有を図りながら、他事業等との併行利用支援 ・地域の社会活動への参加・交流 など
地域支援・地域連携		学校、医療機関、相談支援専門員との連携、地域イベント参加、 保護者向け手話講座開催、地域住民への手話理解促進活動			職員の質の向上		年2回以上の内部研修実施、外部研修参加、手話技術向上研修、 医療的ケア研修、その他必要研修、など
主な行事等		お花見（近隣公園）、春の遠足、避難訓練、感覚遊び、交流会、外出支援（公共交通機関体験）、防犯訓練、防災訓練、秋の遠足、クリスマス会、 書初め、節分行事、手話支援強化月間など					

(別添資料1)

事業所名

和い和いの手

放課後等デイサービス 支援プログラム

作成日

2026 年

3 月

5 日

法人（事業所）理念		すべての子どもが自分の言語で安心して表現できる社会をつくる 手話を言語として尊重し、多様なコミュニケーションが共存する地域社会の実現を目指す					
支援方針		1. 手話を基本言語とした療育実施 2. 5領域に基づく総合支援 3. 医療的ケア児を含む安全配慮体制 4. 保護者への手話支援プログラム実施 5. 将来の社会参加、就労を見据えた支援					
営業時間		9 時	0 分から	17 時	45 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	宿題支援、金銭管理練習、生活スキル訓練 など					
	運動・感覚	軽運動、レクリエーション、外出活動、体力づくり支援 など					
	認知・行動	ソーシャルスキルトレーニング、問題解決トレーニング、将来設計支援 など					
	言語 コミュニケーション	手話・視覚支援の活用、ディスカッション、将来設計支援 など					
	人間関係 社会性	グループワーク、地域交流活動、ボランティア体験（希望者）					
家族支援		定期面談（年2回以上）、相談支援 家庭での関わり方助言、関係機関連携（保育園・幼稚園・医療機関・相談支援専門員等）			移行支援		児童の成長段階に応じ、次を実施する。 ・学校との連携 ・他事業等との併行利用や移行に向けた支援 ・高学年児童への就労準備支援 ・地域の社会活動への参加・交流 など
地域支援・地域連携		学校、医療機関、相談支援専門員との連携、地域イベント参加、 保護者向け手話講座開催、地域住民への手話理解促進活動			職員の質の向上		年2回以上の内部研修実施、外部研修参加、手話技術向上研修、 医療的ケア研修、その他必要な研修、など
主な行事等		お花見（近隣公園）、春の遠足、避難訓練、感覚遊び、交流会、外出支援（公共交通機関体験）、防犯訓練、防災訓練、秋の遠足、クリスマス会、 書初め、節分行事、手話支援強化月間など					